

2 学校安全

宮城県における学校安全の基本的な考え方

- ・東日本大震災の厳しい教訓及び「宮城県学校防災体制在り方検討会議」の提言を踏まえ、いかなる災害や様々な危険からも、児童生徒等の命を確実に守る地域等と連携した学校安全管理体制の確立。
- ・事件・事故・災害等から自らの命を守るため、安全を我が事として考え、主体的に行動できる力の育成。
- ・安全教育の指導時間の確保、より有効な教育手段の導入。
- ・セーフティープロモーション※の考え方を参考にした学校安全の取組の推進。

※WHOが提唱する、傷害をもたらす事故、犯罪被害、自傷行為を部門や職種の垣根を越えた共同や科学的に評価可能な介入により予防しようとする考え方。

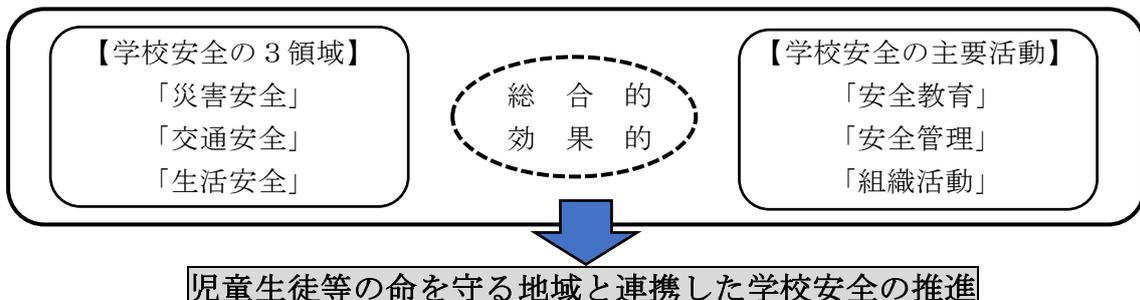
研修のポイント

安全教育・安全指導と事故防止、実際の事故への対応等について理解する。

1 目指す姿

- (1) 学校と地域が連携して、いかなる災害や様々な危険からも、児童生徒等の命を確実に守り、事故を未然に防ぐ学校安全体制の構築を目指す。
- (2) 全ての児童生徒等が、いかなる災害や様々な危険からも、自らの命を守り、他者を助ける力を身に付けることを目指す。

2 学校安全の領域と主要活動



みやぎ学校安全推進計画（第2次）より

生活安全に関する内容

日常生活で起こる事件・事故の内容や発生原因、結果と安全確保の方法について理解し、安全に行動ができるようにする。

- ① 学校、家庭、地域等日常生活の様々な場面における危険の理解と安全な行動の仕方
- ② 通学路の危険と安全な登下校の仕方
- ③ 事故発生時の通報と心肺蘇生法などの応急手当
- ④ 誘拐や傷害などの犯罪に対する適切な行動の仕方など、学校や地域社会での犯罪被害の防止
- ⑤ スマートフォンやSNSの普及に伴うインターネットの利用による犯罪被害の防止と適切な利用の仕方
- ⑥ 消防署や警察署など関係機関の働き

3 学校安全の体系 (学校安全計画の確認 教育計画 P)

4 学校安全に関わる法令

- **安全教育**は、各学校で教育課程を編成する際の基準として定める学習指導要領を踏まえ、地域や学校の実態に応じて、学校の教育活動全体を通して実施される。
- **安全管理・組織活動**は、主に学校保健安全法に基づいて実施される。

5 危機管理

(1) 目的

児童生徒等や教職員等の生命や心身等の安全を確保すること。

- ① 事前の危機管理 : 安全な環境を整備し、事故等の発生を未然に防ぐとともに、事故等の発生に対して備える。
- ② 発生時の危機管理 : 事故等の発生時に適切かつ迅速に対処し、被害を最小限に抑える。
- ③ 事後の危機管理 : 危機が一旦収まった後、心のケアや授業再開など通常の生活の再開を図るとともに、再発の防止を図る。

事故等が発生した際、児童生徒等の生命と健康を最優先に迅速かつ適切な対応を行うことが重要である。そのため、組織として機動的に対応できる救急及び緊急連絡体制を整えておくとともに、迅速かつ適切な手当ができるよう、日頃から全ての職員がその手順について理解し、身に付けておくことが大切である。

文部科学省 「学校事故対応に関する指針」 平成28年3月

(2) 事故、災害発生時の救急体制

- ・勤務校の救急体制と救急活動を行う上での留意点 (危機管理マニュアル)
- ・起こりやすいけがと応急手当の基本 (出血、頭部外傷等)
- ・日本スポーツ振興センターの災害共済給付
- ・保護者への説明責任 速やかな連絡 誠意ある対応

【参考文献】

- ・文部科学省 「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育改訂2版 平成31年3月
- ・文部科学省 「学校事故対応に関する指針」 平成28年3月
- ・宮城県教育委員会 「みやぎ学校安全推進計画」(第二次) 令和4年10月
- ・宮城県教育委員会 「学校事故防止事例集」 令和6年5月

P3【研修資料】★1 日本スポーツ振興センター 第四編「学校生活における事故防止の留意点」P202 事例9

事例9 [2021障-41] 手指切断・機能障害 小1・男

休憩時間中、教室で追いかけて遊んでいた際、本児童が机の上に座っていたところ、他の児童が背後から脇腹をくすぐったため、机とともに床に崩れ落ちた。その際、倒れてきた机と床の間に指が挟まり、右第4指の一部を失った。

休憩時間中に教室内で遊んでいたときに起きた事故である。雨の日などには教室内で過ごすことがよくあるが、教室内の休憩時間の過ごし方については、日頃から十分に指導しておきたい。本事例では机の上に座っていた児童がくすぐられて床に崩れ落ち、机が倒れてしまって指を負傷したものである。まずは教室内を走って遊ぶことは絶対にやめさせたい。さらに机の上に座るなど、高い場所に座ったり立ったりすることもやめさせたい。1年生ということで入学当時から学級指導において教室内の過ごし方を指導しているので、さらに具体的な事例も示しながら、十分な指導を行いたいものである。

【 研修資料 】

★1 日本スポーツ振興センター事故事例より

第四編「学校生活における事故防止の留意点」P202 事例9

休憩時間中、教室で追いかっこをして遊んでいた際、

_____第4指の一部を失った。

空欄の間に何が起きたかを考えてみよう！

★2 緊急時に適切な対応をするために

～救命アクションカードを活用した組織的に動く危機管理体制づくり～

宮城県東部教育事務所ホームページ 小・中学校主幹養護教諭の取組について【令和6年度更新版】

「第一発見者」の動き	「緊急です」カードを受け取ってからの動き	現場に到着してからの動き
意識と呼吸の確認	大きな声で伝える	
		カードを参考に行動

事故発生から救命アクションカードを配付するまでの動きを3つの場面に分けて具体的な動きをイメージしてみよう！

- ① 第一発見者の動き
- ② 「緊急です」カードを受け取ってから（職員室で事故発生の知らせを受けてから）の動き
- ③ 現場に到着してからの動き

